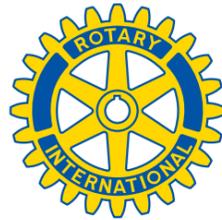


2012-2013 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

9



奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

啓自巳
苑



よしみら



2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
新世代月間に寄せて	3
新世代月間に因んで	4
福島キッズキャンプin北海道<夏編>	5
インターアクト研修旅行報告	7
ローターアクト交流会	9
2013年国際大会ポルトガル・リスボンのご案内(第一報)	10
公式訪問報告	12
2014-2015年度RI会長について	18
新会員のご紹介/訃報	19
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い/文庫通信	20
地区カレンダー	21
出席率・会員数	22



未来を築く新世代プログラム 9月は新世代のための月間

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー **細川好弘** (静内RC)

日毎に秋色深まりゆく今日この頃です。

草花でさえ育ててくれた人の気持ちを反映させて、みごとな花を咲かせ紅葉を迎える役目を果たしています。

社会に巣立つ若い息吹きも、ロータリアンに感動を与え、共に学び合える多様な新世代プログラムとして、健康、人間の価値、教育、自己開発の為に、生涯続く新世代奉仕の役割であります。

先刻、当地区で開催されました第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議では、「若者よ、海外へ羽ばたけ」をテーマに、インターアクター、ローターアクター、ROTEX、青少年交換派遣学生、受入学生、台湾からのロータリアン、国内ロータリアン370余名が参加して開催されました。

青少年の留学体験の豊かさを提供しているロータリーの対応とその必要性について学び、留学体験者（ROTEX）からは「世界を知る必要がある」「日本を知ること誇りに思った」「愛国心が日本にはないように感じた」「国際交流で平和を深めることになる」「小さな親善大使としての責任性と視野が広がることで人生の転機にもなった」「THANK YOU ROTARY」でまとめる等、貴重な体験報告に魅入っていました。

特に海外体験で日本の文化を伝え、世界を学ぶことは、自立心が育まれ精神的に強くなった事を社会人になって強く感じているのはロータリーの素晴らしいプログラムのお陰であることを熱っぽく語っておられました。

当地区では初めての開催ではありますが、青少年交換プログラムへの理解が深められ、新世代奉仕は人類への奉仕でもあり、大変重要なものであることが確認された札幌会議でありました。

本年度から、当地区にライラ委員会を組織させていただきました。1996年野口ガバナー年度に新世代の種を播いていただき、1997年石垣ガバナー年度で熟成の時を経て、1998年伊藤長英ガバナー年度で花開いた青少年奉仕活動の経過がございますが、その後、新世代委員長セミナー、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）の開催、青少年交換留学生の為に地区危機管理委員会の創設等、担当された各ロータリアンの熱意が込められて今日に至っております。

「新世代奉仕」が規定審議会にて第五奉仕部門として承認され、世界中でロータリアンによるプログラムが繰り広げられておりますが、当地区として7年ぶりにRYLAを復活することになります。

本年は地区大会（10月13、14日 新ひだか町）の並行プログラムとして新冠判官館青年の家を主会場に企画されております。

社会的・経済的に恵まれないが、若い人々の指導力および善良な市民としての資質を伸ばすこと

を目的としておりますので、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ROTEX、学友をはじめ、地区内各クラブの地元の青少年や若者も加わって絆を築いていただければと願っております。

東日本大震災直後から、当地区も支援活動を続けておりますが、日本人が忘れかけていた「助け合いの心」「支援の心」を取り戻したようにも言われております。地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会（阪崎健治朗委員長）では、幼児や学校施設等新世代にかかわる救援活動も展開しておりますことはご案内の通りであります。

2012-13年度田中RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」です。そのための活動の一環として「ロータリー世界平和フォーラム」を開催します。

日本での広島会議では「平和はあなたから始まる」をテーマに、特に新世代に焦点を当て、2013年5月17日（金）～18日（土）田中RI会長の強い思いを込めての日本フォーラムです。

新世代の皆様と共に参加され平和を語り合っていたいただきたいと思います。

このように幅広い新世代奉仕活動は、子供と親のためのマナーキッズ活動（当別クラブ）から、指導力養成活動、社会奉仕、国際奉仕への参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって好ましい変化をもたらされる、まさに素晴らしい「奉仕を通じて平和を」の道へ進むのであります。

昨日のインターアクターは今日のローターアクターであり、明日のロータリアンとなります。

新世代奉仕活動で未来のロータリーを築き上げていただけることを、心から願っております。



2013.5.17-18 ロータリー 世界平和フォーラム広島

開催日時：2013年5月17日（金）～18日（土）

開催場所：広島国際会議場及びANAクラウンプラザホテル広島

主催：国際ロータリー・ロータリー財団

ホスト：2013世界平和フォーラム広島ホスト委員会

サポート：国際ロータリー第2710地区

特別協力：国連ユニタール



新世代月間に寄せて

地区新世代奉仕委員会

委員長 柳

孝一

(札幌南RC)

国際ロータリーの発行書「新世代入門」の最後の文章は

「ロータリー・クラブのリーダーは毎年交代しますが、青少年や会員増強への取り組みは継続が大切です。昨日のインターアクターは、今日のローターアクターであり、明日のロータリアンとなるのです。」

と結んでいます。わずか本文10ページ足らずの冊子ですが、新世代奉仕のことはこの冊子を読むとだいたいは理解できると思います。おおよそ30分間で新世代をマスターできます。

(国際ロータリーのホームページから無料でダウンロードできます)

今年度、細川ガバナーの地区目標「ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう」と第一に掲げられました。

2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第5条に、以下のように定義されています。

「奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである。」

にわかに注目を集める「新世代奉仕」ですが、当地区で今年度7年ぶりにRYLAが復活し、地区RYLA委員会が新設されました。(他の地区はほとんどRYLAを行っています)

RYLAの正規名称は「ロータリー青少年指導者養成プログラム」で青少年や若者のためにロータリーが行う研修プログラムです。「リーダーとして囑望される若者に効果的な研修を提供し、青少年による青少年への指導を奨励し、地域社会に尽くしている若者を公に表彰することにより、若者に対するロータリーの尊重を示すものです。」※新世代入門より

10月13日、14日地区大会の並行プログラムとしてRYLAを開催します。是非、クラブから新世代を推薦してください。

最後に9月の「新世代のための月間」は手続要覧2010によると年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てるために、9月は「新世代のための月間」に指定されている。ロータリー・クラブは、「各ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian an Example to Youth)という標語を、「新世代のための月間」中のクラブ会報や広報資料に使うよう奨励されている(ロータリー章典40.060.1.)。と記されています。

今年度、細川ガバナーの元、地区目標が達成できるよう委員会として、活動していきます。



新世代月間に因んで

地区青少年交換委員会

委員長 **有田京史**
(新札幌RC)

当地区に於ける高校生を対象にした青少年交換は、現在アメリカ・カナダ・オーストラリア・フィンランドを軸に行われています。

また青少年交換は、受入れクラブ・受入れ校・ホストファミリーが揃ってはじめて留学生を受け入れることが出来ます。派遣も含め、実に沢山のロータリアンと外部の方々のご協力を得て成り立っている事業です。青少年交換に関わり汗を流して下さっている方々には、本当に頭が下がります。

ロータリー新年度も始まりましたが7月下旬から8月にかけては、青少年交換委員にとって最も忙しい時期となります。

今年は、一年間の留学を終えそれぞれの母国に帰る学生5名、派遣先から帰って来る学生6名、これから出発する学生6名そしてこれから来日する学生4名、総勢21名の帰国入国がこの時期に集中します。同じ様な名前があると頭の中がごちゃごちゃになりそうになります。今年は、何回新千歳空港に行くことになりますやら。

しかしこの時期は、地区委員や関ったロータリアンが最もやりがいを感じる時でもあります。

受入学生が帰国する時は、たいてい「帰りたくない。」と言ってくれます。又、各国に派遣されていた学生も、見違えるほど逞しく成長して帰って来ます。この姿を見た時の静かな感動は、青少年交換の委員冥利に尽きます。この気持ちを独り占めにするのは勿体ない様な気がします。よりたくさんさんのロータリアンに味わって貰いたい思いです。各クラブ・ロータリアンの皆に、より青少年交換を“知って理解して共感して”もらえるようにもっと努力をして行きたいと思えます。

さて新世代奉仕も五大奉仕の一つとなり、我が地区でもRYLAが復活しました。これからは、地区の新世代奉仕活動をより充実させて行きたいものです。

インターアクトクラブから青少年交換の派遣生となり、帰国したらローターアクトクラブ活動をして、ローターアクターからロータリアンが誕生する…そんな夢を柳新世代奉仕委員長と共に描いているところです。

地区大会の並行プログラムとして復活したRYLAも、インターアクト・ローターアクト各委員会と協力して是非とも成功させたいと願っています。

福島キッズキャンプ in 北海道

<夏編>

子供達のはじける笑顔

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員

実行委員長 清水 哲

(札幌東RC)

キャンプの<夏編8月17日～8月23日>は大震災救援奉仕プロジェクト委員会で企画し、奉仕プロジェクト委員会、実行委員会、地区第1、2、3、12グループと連携して計画し、多くのRCメンバーの支援をいただき、無事終了いたしました。

3月の<春編>（前年度ガバナー月信5月号）に続く事業ですが、<夏編>は企画から実施までは熊澤直前ガバナーと細川ガバナーと2つの年度に跨る事業であり、放射線被害のためバラバラに避難先での生活を余儀なくさせられている福島県飯舘村の小学生たちに、夏休み最後の一週を北海道の自然や砂川や江別の子供達とのふれあいを通して、楽しい思い出を持ち帰ってもらおうと考えました。

飯舘村教育委員会をとおして募集した小学生4年～6年、男子9名、女子16名、福島県のインターアクトの高校生4名、ロータリーアクトの短大生2名の総勢31名を招待しました。

事前に実行委員4名は、福島市内で8月5日（日）に説明会を開きました。前日に我々の仙台便は霧のため引き返すというアクシデントに見舞われましたが斉藤委員（札幌北RC）の機転により次の便に乗りこみ無事説明会に間に合いました。

31名の方々は8月18日にRID2530（福島）の伊藤ガバナーの信書を携え、苫小牧西港に到着、第12グループでの進行のもと、開会式が開催され、細川ガバナーには、公式訪問の際間で、子供達を迎えていただきました。

その後、ネパール砂川に移動となりました。なにせ、長い団体旅行に不慣れな小学生たち、さまざまなアクシデント発生！砂川滞在中に同行した松原国際奉仕委員長をはじめとした、地区第2グループ特設医師団のおかげで適切な処置ができ心をなでおろしたシーンが何回もありました。更に国際奉仕委員会は、野焼きパン（田口委員）、子供のケア（水上委員）、キャンプファイヤーの盛り上げバンド（谷口委員）など総出で応援をいただきました。

今回は北海道立砂川少年自然の家<ネパール砂川>に4泊し、富良野や旭川に足をのばしましたが、砂川での野焼きパンでは砂川市の職員、砂川スイートロード協議会の皆さんにすべてお世話いただき、NPO法人<ゆう>にも、イベントと子供との交流会の進行も実施していただきました。今さらながら、砂川RCと地域との日ごろの密接な協力関係というより、兄弟のようなうらやましい間柄が垣間見られた数日間でした。

第1グループ（深川・羽幌・妹背牛・留萌）には、ホタテと豚ジンギスカンを持ち込んで、しかも留萌RC会長を先頭にみなさんで焼いて子供達にプレゼントしていただきました。



とんでんファームの開会式



砂川の子供たちが司会

また、旭山動物園では、蛭名ローターアクト委員長、川下委員、ローターアクトの皆様にご案内していただきました。

最終日は、トンデンファームで第3グループ（美唄・江別・江別西・岩見沢・岩見沢東・栗沢・栗山・当別）みなさんで企画していただき、閉会式とファームでの動物とのふれあいタイムを楽しく過ごしました。

子供達に当初の目的である「楽しく遊べましたか？」と聞いたところ全員で「楽しく遊べました!!!」と答えていただきました。そして、それにも増して大きな声で「ありがとうございました。」には、目頭が熱くなりました。

ご協力をいただいた皆様全員のご氏名を記載できなかったことをお詫びするとともに、皆様のご協力に心から感謝します。

最後になりますが、R I D 2530（福島）から、佐原PDGご夫妻、安藤新世代委員長に來道していただきました。心から感謝しますとともに今後も両地区の「絆」を深めていくことの重要性を再認識したしいです。

みなさんから、いろいろプレゼントを頂きました。

タイのノンカイRC：メッセージカード、キャンドル。札幌北RC：水250本。北菓楼：クッキー。ローレル：入浴剤。水上さん：うろこ団子。増山さん：UNO。安孫子GE：クッキー。江別市：ラーメン。佐原2530地区DPG：福島のせんべい。ご紹介もれがあれば、ご容赦ください。



ばんばに乗ったよ



野焼きパン

日付	曜日	プログラム
8月17日	金	福島駅からバスで仙台港へ、フェリーで苫小牧へ
8月18日	土	苫小牧にて開会式、砂川パークホテルでウェルカム交流会
8月19日	日	すながわスイートロード野焼きパン作り 北菓楼でスイートタイム&買い物 松尾ジンギスカン滝川本店にて夕食
8月20日	月	富良野で、じゃがいも掘り&バター手作り体験&昼食 砂川の子供達との交流会 in 「ゆう」、バーベキューパーティー 滝川ふれあいの里で、温泉入浴
8月21日	火	旭山動物園にて見学&昼食、買い物 キャンプファイヤー
8月22日	水	思い出写真立て作り トンデンファームにて交流会&昼食 苫小牧から仙台港へフェリー
8月23日	木	仙台港から福島駅へバス移動 解散式

すべてネイパル砂川にて宿泊しました。

インターアクト研修旅行報告

地区インターアクト委員会

委員長 山口 史朗

(札幌東RC)

8月5日(日)～7日(火)の2泊3日の行程で、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市・石巻市・亶理町及び近隣地域を訪問してまいりました。「震災を忘れない、被災地を忘れない～見て・感じて・語り続けよう～」をテーマに、インターアクター6校20名・顧問教師5名・ロータリアン5名の総勢30名の参加で実施致しました。当地区の苫小牧北ロータリークラブ、伊達ロータリークラブにご協力を仰ぎ、姉妹交流のある石巻ロータリークラブ、亶理ロータリークラブの両クラブにお願いして、現地での受入のお世話をさせていただきました。改めて報告書を作成致しますが、概要を報告申し上げます。

一日目、午前11時頃仙台空港到着後、亶理町に入り昼食。亶理ロータリークラブ4名と合流して、被災地視察。辛うじて駅舎の壁が残った常磐線坂元駅、既に線路はないが、原形を留めるプラットホームが駅であったことを物語る。生徒が屋根裏倉庫に逃げ込んで助かったという中浜小学校、別荘地として開発されたが今は何もない原っぱと化した吉田地区。車窓から見えるのは、家の土台だけが残り雑草が生い茂る風景と、真新しい墓石が並ぶ墓地。延々と続く光景に、参加者全員が言葉を失う。続いて、瓦礫処理プラントの見学。ゼネコンJVによる、瓦礫の分別・再利用・焼却の施設。17haの敷地に約600億円の費用を投じたという。ダイオキシンを出さない、急速冷却装置とフィルターを備えた焼却炉が5基あり、24時間稼働している。敷地内には、高さ15mの巨大ジャングルジム。津波の時に避難するための施設で、食料の備蓄もあるそうだ。日曜日にもかかわらず、我々のために所長が出勤して案内役をして下さった。

二日目、午前中は松島観光。塩竈から遊覧船に乗り松島へ。松島には、桂島・野々島・寒風沢島・朴島と四つの人の住む島がある。松島でも約800戸の家屋が流されたが、ひとりの犠牲者も出なかったそうだ。海で生計を立てる島の人達は、津波の恐ろしさを熟知していて、サイレンと同時に高台に避難して難を逃れたそうだ。五大堂や瑞巖寺は入江の奥にあたり、島々が自然の防波堤と



瓦礫処理プラントで亶理ロータリークラブの方と一緒に



三階の三角部分の倉庫に避難したという中浜小学校

なり、13mの津波が2.5mに衰え比較的少ない被害と聞く。

昼食後、石巻高校に向かう。20名余の陸上部生徒と石巻ロータリークラブ3名が歓迎して下さった。教室で、震災時の状況を聞き、多くの住民が避難した日和山に案内していただく。山の上から見た石巻は、津波で抉られた爪痕がはっきり見て取れる。震災の象徴となった門脇小学校を通り、渡波（わたのは）に向かう。廃墟と化した住宅や社屋が続き、廃車や瓦礫の山がそこらにある。復興の速度は、自治体によって相当差があるそうだ。渡波獅子風流（わたのはししふり）を見学する。石巻市無形民俗文化財で400年以上の歴史がある。震災の被害で活動の休止を余議なくされたが、復興を応援する活動として再開したそうだ。華麗な太鼓と獅子を自在に操る勇姿は、まさに復興の象徴と言える。

三日目、仙台市若林区で農地再生のため、畑の瓦礫除去のボランティア活動。受入は、震災復興・地域支援サークルReRoots（リルーツ）。リルーツは、炊き出しや物資の配給からはじまり、家屋の泥だし・片付けなどの復旧ボランティアをしていく中で、様々な問題を発見し、団体を立ち上げて農家支援をしている。学生主体に、明確な復興ビジョンを持ち、被災者に寄り添っている印象を受けた。自宅の赤松によじ登って津波から逃れたという大友昭亥さん老夫婦の畑で作業をする。30℃を超える猛暑の中、インターアクター達は一生懸命に瓦礫拾いをしてくれた。小さな行動でも、大きな意味のあることを感じてくれたと思う。

昼食を挟んで、午後は名取市へ。名取市商工会職員の案内で、閑上（ゆりあげ）被災地区を視察。高さ7mのコブのような日和山の上で、被災前の写真と比較しながらの説明を受ける。ここもまた、見渡す限りの原っぱが続く。以前はびっしりと住宅が立ち並んでいたが、約2,000戸の住宅が流されたという。高校生が24時間しがみついて救助された携帯会社のアンテナは傾いたまま、閑上中学校の壁時計は14時46分で止まったままだった。「閑上さいかい市場」に向かう。被災した店舗を中心に、29店舗が入居。「再開」&「再会」の意味が込められている。名取の台所の味覚と活気と人情を味わった。



日和山で石巻高校陸上部の生徒と一緒に



閑上さいかい市場



ローターアクト交流会

地区ローターアクト委員会

委員長 **蝦名大典**

(札幌幌南RC)

ローターアクトの活動を大きく分けると、第2510地区全体で行なう活動と各クラブごと単独で行なう活動の2つに分かれます。

地区全体で行なう活動は、地区協議会・地区大会などがあり、交流中心の夏のキャンプ・秋の自転車タスキリレーや冬の温泉一泊会があります。

最も特徴的な活動としては第2500地区との交流会があり昨年で10回を数えました。この交流会は1年おきに両地区でホストを交代で受け持ち文字通り両地区のアクターが交流をするもので2日間に渡って行なわれます。

ホスト地域によっては貸切りのバスで移動するような大掛かりなものになる年もありますが、この交流会が10年も続いたことの成果として両地区アクターの親睦は深まり、地区をまたいで行き来するほど親密になりました。今年度は10月に富良野市で開催されます。

今回はローターアクト交流会を取り上げましたがローターアクトにはロータリークラブには無い特徴的な活動が多くあります。

ロータリアンにとってなじみが浅く参加しにくい場合が多いのも事実かと思いますが、一度地区活動又は各クラブの活動に参加していただくことによりローターアクトクラブの活動を理解していただけたらと思います。彼らの若い力がこれからのロータリーを活気付けるものになるかも知れません。

ここには書ききれない為、いつ・どこで活動が行なわれるか分からない場合は私まで問い合わせただけましたらお近くのローターアクトクラブの活動を紹介します。

一度ローターアクトクラブに接してみてはいかがでしょうか？





2013年国際ロータリー国際大会 ポルトガル・リスボンのご案内 (第一報)

地区R I 国際大会推進委員会

委員長 佐々木正丞

(札幌RC・PG)

2013年R I 国際大会は2013年6月23日(日)から26日(水)にかけてポルトガル・リスボンで開催されます。当地区R I 国際大会推進委員会は国際大会のためA、Bの2コースを企画いたしました。

※ Aコースはリスボン大会出席を主体としてあります。(2日目まではBコースと同一行動とし親睦を深めていただければと思います)

※ Bコースは大会参加後、リスボンからスペインを周遊いたします。

又A、B両コース共に北海道ナイトを企画しており、日本人親善朝食会にも参加できます。ご家族お誘い合わせになり参加して世界中のロータリアンと知り合い、新たな出会いをみつけませんか。

尚詳細な【旅行費用、ホテル、登録方等】のご案内については11月又は12月、ガバナー月信にてご案内いたします。

Aコース：国際大会参加とポルトガル・リスボン7日間【旅行代金の確定ご案内はガバナー月信11月又は12月を予定しています】

旅	日時	地名	現地時刻	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/21 (金)	新千歳発 成田着 成田発 リスボン着	朝 午前 午後 夜	航空機 航空機	*国内線にて成田空港へ *着後、最終待合室へ移動 *一路リスボンへ向け出発(ヨーロッパ内にて乗継となります) *着後、専用車にてホテルへ (リスボン泊)	—	→	→
2	6/22 (土)	リスボン (38km) シントラ (13km) ロカ岬 リスボン	終日	専用車	*午前：世界遺産シントラとロカ岬観光 「かつての王の夏の離宮シントラ王宮、「ここに地果て、海始まる」という石碑で有名なヨーロッパ大陸最西端ロカ岬。」 *午後リスボン市内観光(約4時間) *世界遺産ジェロニモス修道院～バレンの塔～サンロウケ教会～発見のモニュメント等 ◆自由行動も可能です (リスボン泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
3	6/23 (日)	リスボン滞在	終日		◆世界大会 開会式参加 *一回目 9:45～12:15分予定 *二回目 15:30～18:00予定 ◆北海道ナイト(希望者のみ) 19:00～予定 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
4	6/24 (月)	リスボン滞在	終日		*日本人親善朝食会(希望者のみ) 6:30～予定 ◆終日自由行動 ◆ご希望によりオプションツアーも可能です。 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
5	6/25 (火)	リスボン滞在	終日		◆終日自由行動 ◆ご希望によりオプションツアーも可能です。 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
6	6/26 (水)	リスボン発	午前	航空機	*空路、帰国の途へ(ヨーロッパ内にて乗継となります) (機中泊)	ホ テ ル	→	→
7	6/27 (木)	成田着 成田発 新千歳着	午後 夕方 夜	航空機 航空機	*着後、入国手続きを済ませ国内線移動 *国内線にて新千歳へ *着後、無事解散	→	×	×

この日程は2012年8月20日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。

Bコース：国際大会参加とスペイン周遊8日間【旅行代金の確定ご案内はガバナー月信11月又は12月を予定しています】

旅	日 時	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	朝	昼	夕
1	6/21 (金)	新千歳発 成田着 成田発 リスボン着	朝 午前 午後 夜	航空機 航空機	*国内線にて成田空港へ *着後、最終待合室へ移動 *一路リスボンへ向け出発（ヨーロッパ内にて乗継となります） *着後、専用車にてホテルへ (リスボン泊)	—	→	→
2	6/22 (土)	リスボン (38km) シントラ (13km) ロカ岬 リスボン	終 日	専用車	*午前：世界遺産シントラとロカ岬観光 「かつての王の夏の離宮シントラ王宮、「ここに地果て、海始まる」という石碑で有名なヨーロッパ大陸最西端ロカ岬。」 *午後リスボン市内観光（約4時間） *世界遺産ジェロニモス修道院～ベレンの塔～サンロケ教会～発見のモニュメント等 ◆自由行動も可能です (リスボン泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
3	6/23 (日)	リスボン滞在	終 日		◆世界大会 開会式参加 *一回目 9：45～12：15分予定 *二回目 15：30～18：00予定 ◆北海道ナイト（希望者のみ） 19：00～予定 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
4	6/24 (月)	リスボン (130km) エヴォラ (325km) セビリア	朝 午前 夕方	専用車	*日本人親善朝食会（希望者のみ） 6：30～予定 *世界遺産エヴォラ観光へ *ディアナ宮殿～カテドラル～サン・フランシスコ教会等 *国境をこえ、スペイン・アンダルシア地方の中心セビリアへ *着後セビリア観光：世界遺産カテドラル～ヒラルダの塔～スペイン広場等 (セビリア泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
5	6/25 (火)	セビリア (235km) ミハス (156km) グラナダ	朝 昼 夕方	専用車	*アンダルシア地方の古都グラナダへ *途中、コスタ・デル・ソルの白い村ミハスを散策 *着後、グラナダ市内観光 世界遺産アルハンブラ宮殿とヘネラリーフェ庭園～大聖堂等 (グラナダ泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
6	6/26 (水)	グラナダ (419km) マドリッド	朝 午後	専用車	*首都マドリッドへ *着後、マドリッド市内観光 「プラド美術館～王宮～スペイン広場～プエルタ・デル・ソル等」 (マドリッド泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
7	6/27 (木)	マドリッド発	午 前	航空機	*空路、帰国の途へ（ヨーロッパ内にて乗継となります） (機 中 泊)	ホ テ ル	→	→
8	6/28 (金)	成田着 成田発 新千歳着	午後 夕方 夜		*着後、入国手続きを済ませ国内線移動 *国内線にて新千歳へ *着後、無事解散	→	×	×

この日程表は2012年は8月20日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。

【お問合せ・お申込先】

(株)日本旅行北海道札幌支店

札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階

電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174

担当：西村・前野

公式訪問報告

三石ロータリークラブ 7月9日(月)

7月9日(月) 細川ガバナー、中村ガバナー補佐、中山地区代表幹事、不動地区幹事、佐藤地区大会実行委員長の5名が出席しガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では本年度の三石RCの活動方針全般に渡り説明した後、クラブ協議会で各委員会の委員長から活動計画を発表し、ガバナーより感想、アドバイスを頂きました。

その中で、会員増強の目標はプラス3%でロータリアンとしてふさわしい人を選ぶよう、また、例会出席100%を目指すには会員が例会出席に価値を見出せるような例会にすることが大切であると話されました。

中山地区代表幹事からは「ガバナー月信」の発行事業が赤字であることが報告され、クラブ会員が全員購読されるよう勧められました。

続いて行われた例会の講話はプロジェクターを利用して行われ、今年度の田中作次RI会長が掲げるテーマ「奉仕を通じて平和を」に基づき、強調事項、地区目標等について解りやすく解説されました。細川ガバナーは「心、技、体」の充実が人として成長するために必要であることや、田中作次RI会長の言葉を引用し「目標を立てそれを達成できるかどうかは私達次第です。人々が自力で生きていけるよう助けられるかは私達次第です。そして超私の奉仕を実践し奉仕を通じて平和を築けるかどうかは私達次第なのです」。すべて「私次第」と話され講演を終えられました。



様似ロータリークラブ 7月10日(火)

7月10日(火) 細川ガバナー、中山地区代表幹事をお迎えして、午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時15分より例会を開催いたしました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの近況や問題点を報告し、それらについてガバナーのお考えと助言をいただきました。また、当クラブで協議中のCLPについても貴重なアドバイスをいただくことができました。クラブ協議会では、年間の活動方針や具体的な活動方法を説明いたしました。

ガバナーからは、地区補助金や東日本大震災義援金の有効な利用法のアドバイスをいただきました。その後例会を開催いたしました。同じグループ内のガバナーということで、終始和やかな雰囲気の中で進行し、最後に地区大会への協力を確認して例会を終了しました。

例会終了後、様似町長を表敬訪問していただき公式訪問を終了しました。



えりもロータリークラブ 7月12日(木)

7月12日(木) 細川ガバナーの公式訪問を受け、中村ガバナー補佐、中山地区代表幹事等のご同行を戴き開催致しました。10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会が行われ、各奉仕委員会役員から今年度のえりもRC活動計画について発表をさせて戴きました。

例会での細川ガバナーのスピーチは、田中作次RI会長の紹介とRIテーマ「奉仕を通じて平和を」の強調事項、そして当地区の地区目標を熱く語って戴きました。えりもRC会員は、ガバナーのスピーチに大変感銘を受けたところであります。

細川ガバナーは、私達、第8グループから初めてのガバナーであります。10月13日、14日の地区大会の成功と地区目標の実現に向け、えりもRCは取り組みを強化すると共に、第8グループ5クラブのロータリアンの皆さんと手を携えて目標達成に努力してまいります。公式訪問、大変ご苦勞様でした。

**北広島ロータリークラブ 7月17日(火)**

7月17日(火) 細川ガバナー、佐々木ガバナー補佐の公式訪問を戴きました。前日の7月16日に北広島にお泊りとのことでしたので、ガバナーを囲んでクラブ会員との懇親会を持ちました。楽しく談笑し、翌日の公式訪問は、始めから打ち解けた雰囲気で行われました。

午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会各委員長が活動方針を報告し、細川ガバナー、佐々木ガバナー補佐よりご意見を戴きクラブ協議会を終わることができました。

12時15分からの例会では、細川ガバナーから、「田中作次RI会長は日本人として3人目の会長で現在シカゴに住んでおられること。「奉仕を通じて平和を (Peace Through Service)」を広めたいというRIテーマと、「超私の奉仕 (Service Above Self)」を強調されていること。」などのお話がありました。

参加会員からも、出席率向上のための提案と、会員増強のため若い世代をロータリーに結び付けるためにインターネットを利用できないかといった提案もあり、大変有意義に公式訪問は終了しました。

**恵庭ロータリークラブ 7月18日(水)**

7月18日(水)、例年になく早期の公式訪問が細川ガバナー、佐々木ガバナー補佐を迎えて午前10時より会長・幹事、会長エレクトの懇談会が始まり、和やかな雰囲気の中で時間ぎりぎりまで有意義な会議を行うことができました。

その後直ちにクラブ協議会に移り、各委員長による今年度の事業計画並びに方針と、緊張しながらも堂々と発言しておりました。クラブ協議会終了後ガバナー、ガバナー補佐を囲んでの昼食会、



食事を終え例会に入り、ガバナーによる講演、今年度テーマ「奉仕を通じて平和を」と地区目標の3項目についてお話を戴きました。

ガバナーには忙しい中、7月に入会した会員2名の入会式に立ち会ってもらいバッジの授与までして戴き、新会員も忘れられない1日になったことと思います。

細川ガバナーにおかれましては、これからもまだまだ続く公式訪問ですので、お体に気をつけて訪問を行って下さい。

千歳ロータリークラブ 7月19日(木)

7月19日(木) 細川好弘ガバナー、佐々木昭第7グループガバナー補佐(千歳RC)をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では、村田会長よりクラブ活動概要をはじめ、直面する課題(長期計画プロジェクト)などを報告し、細川ガバナーより活動に対する質問と運営に対するご指導を戴きました。引き続き行われましたクラブ協議会では、各委員長から本年度における活動計画の中で重点的に取り組むべき事項を報告し、細川ガバナーより具体的なアドバイスを戴きました。

12時より細川ガバナーとともに和やかな雰囲気の中で昼食会を行い、続いて例会に入り、日本人3人目のR1会長田中作次氏のテーマ「奉仕を通じて平和を」を基に「日本人は心を開き、より寛容になり、もっと世界を理解を」と強調され、細川ガバナーご自身がスケッチされた桜、そして墨痕鮮やかな「心・技・体」についてのご講話は細川ガバナーのお人柄が滲み出た心に残る基調講演を戴きました。また例会では、本年度2人目の新会員阿部正信氏の入会式で細川ガバナーからロータリアンの証であるロータリーバッジを付けて戴く栄を賜るなど、大変有意義な時間を共有することができ、実り多い公式訪問となりました。



長万部ロータリークラブ 7月23日(月)

細川ガバナーと秋田第10グループ担当ガバナー補佐をお迎えして、7月23日にガバナー公式訪問が行われました。

朝10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブは会員数8名のミニクラブの現況等を説明し、細川ガバナーは良く当クラブの現況を把握されていて社会奉仕活動等にもお褒めの言葉を戴きました。

10時30分からは長万部町長への表敬訪問もして戴き、11時から各委員長を中心としたクラブ協議会を行いました。例会では当地名物かにめしの昼食の後、細川ガバナー、秋田ガバナー補佐からそれぞれお話を戴き、プロジェクターを利用した今年度の地区目標の説明等を詳しくお話されよく理解できました。当クラブも純増会員1名の目標達成に向け邁進していきたいと思っております。

細川ガバナーには当クラブ訪問に誠に感謝申し上げます。お体に気をつけて公式訪問が無事終了する事を願っております。



江差ロータリークラブ 7月24日(火)

7月24日(火) 小雨のそぼ降る中、細川ガバナーの公式訪問が江差ロータリークラブで行われました。

午前10時からの会長・幹事懇談会で、まずは創立50周年を迎えたことへの改めての御祝いの御言葉、並びに前川ガバナー補佐の推薦につき御礼を賜りました。

主に今年度のテーマである「会員増強」について話し合い、入会においては飽くまで個人の意志によるのが望ましいとの御見解、並びにロータリーの楽しさを発信し伝えてゆくことの重要性についても御高説頂きました。

11時からのクラブ協議会では10名という少人数クラブでありながら、バランス良く活動計画を立てられており、これからの更なる50年の間での当クラブの発展を祈念する旨の有難き御講評をいただきました。

12時過ぎからの例会では細川ガバナーによる卓話をいただき、「例会とは異なる職業、宗教、価値観等の人々が一堂に会する機会でもあり、それらを互いに受け容れるのが寛容の精神である」との御言葉を頂き、ロータリーの意義につき改めて認識させられたひと時でありました。例会後は江差町役場へ町長表敬の御訪問、その後は当クラブの社会奉仕事業の一つである「ロータリーの森」の視察にも伺われました。実に有意義なひと時でした。誠に有難うございました。

**函館セントラルロータリークラブ 7月24日(火)**

7月24日(火) 細川好弘ガバナー、秋田正悦ガバナー補佐をお迎えし当クラブのガバナー公式訪問が行われました。

当日は、午後4時より会長・幹事懇談会、5時からは第2回クラブ協議会に列席戴き、各委員会から今年度の活動計画を発表したのち細川ガバナーよりご指導を戴きました。6時10分より公式訪問記念撮影を行い、その後6時30分からの例会の中で、R Iテーマ「奉仕を通じて平和を」の主旨説明を中心としたご講話を戴き、会員一同勉強させて戴きました。



例会終了後のガバナー歓迎懇親会では、細川ガバナーにゆっくりと寛いで戴き、ゲームなどで楽しんで戴き終了致しました。

森ロータリークラブ 7月25日(水)

7月25日(水) 細川好弘ガバナー、第10グループ秋田正悦ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事懇談会が細川ガバナー、秋田ガバナー補佐、会長、幹事の4名で行われ、クラブの現況及び活動計画の内容について概略を説明致しました。CLPを導入時にクラブ細則を改定しましたが、4年目となる今年度は直前会長、会長、会長エレクトが引き継ぎ事項確認、協議会でクラブ方針を決定す



る会合をするように改定致しました。

新地区補助金について細川ガバナーより説明があり補助金申請が会長就任前に申請しなければならないことについて、今年度より地区において対応する趣旨の説明がありました。次年度以降新地区補助金を活用した奉仕事業を実施したいと考えております。また当クラブでは理事会、各委員会が互いに連携し特に会員拡大に多くの成果が発揮されていることを報告致しました。

今年度のクラブ運営については「会員企業の繁栄が奉仕のさらなる拡大につながる」の方針のもと奉仕事業を行うと説明させていただきました。細川ガバナーよりの確なご教示をいただき今後1年間の活動の指針とさせていただき決意を新たに致しました。

引き続き午前11時より行われたクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動計画の中身について詳細な内容を説明し、細川ガバナーより具体的、適切なアドバイスを頂きました。

正午より会員を交えての和やかなうちにも緊張感がある例会が行われ、細川ガバナーが今年度の田中作次R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」についてプロジェクターを活用し丁寧に説明されました。次いで細川ガバナーが掲げる地区目標についても具体的な説明をいただき、その実現に向け取り組みたいと思いました。

当日は私（会長）の誕生日であり60歳（還暦）の節目に公式訪問が行われ、1997年にロータリーに入会し最も記憶に残る一日を過ごすことができました。森ロータリークラブも次年度クラブ創立50周年の輝かしい年を迎えることとなります。更なる飛躍を目指し活動致したいと思います。

函館ロータリークラブ 7月26日(木)

五島軒本店において午前10時からの会長・幹事懇談会では、細川ガバナーと秋田第10グループ担当ガバナー補佐をお迎えして、私たちは柴田直前ガバナー補佐、久保会長、岩塚幹事の3名でお会い致しました。

久保会長からは、エゾヒキガエルの保護活動や当クラブ独自の奨学制度、また昨年度はロータリー財団委員会においてマルチプル、ポール・ハリス・フェローが合計57名、新たにクラブポイント補填を活用して誕生したことなどを紹介致しました。



11時からの第1回クラブ協議会では、事業計画を各委員長から発表しましたが、これに対して細川ガバナーからは、講評として17委員会全てにコメント・ご助言をして戴き、大変感激しました。

12時半からの例会ですが、実は細川ガバナーは会長・幹事懇談会の15分前から会場に到着し、ご自身のパソコンとプロジェクターをお持ちになり、会場でプレゼン準備をされておりました。そのパソコンを使用してのロータリー活動のご紹介は非常にわかりやすく、新会員はもちろん、ベテランの会員にもロータリーを改めて知る貴重な機会となりました。人の息には実は色が付いているといったユニークなエピソードもあり、楽しく充実した時間でした。超ご多忙の中、疲れは微塵も見せず、真摯で気さくで、また温かみのあるお人柄の方と拝察致しました。

例会終了後、ガバナー、補佐を囲んでの写真撮影を行い、会員にとっても素晴らしい記念となりました。

北斗ロータリークラブ 7月26日(木)

7月26日(木) 細川好弘ガバナー、前川敏雄ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われました。午後3時の高谷寿峰北斗市長の表敬訪問の後、午後4時より「会長・幹事懇談会」が開かれ、当クラブより、会長、幹事、会長エレクトの3名が出席し、前川敏雄ガバナー補佐の進行により進められました。

当クラブ会長より当クラブの特徴として、IT関連の先取りと先進、今年度で6回目の北斗市・自衛隊・隊友会・当クラブ合同の「きっずアドベンチャーキャンプ」(7月27日~29日)開催、14年連続の薬物乱用防止活動等について報告及び今後の活動の見直しについて。

次に当クラブの現状として、会員数が前年度末時点で15名と、活動・運営・資金・マンパワー不足を感じている等の報告。今年度の活動目標に、会員数25名を目標設定し、今年度すでに2名の再加入会員を迎える事が出来そうであるとの報告。奉仕対象となる地域のニーズを把握し蓄積したノウハウを駆使し「クラブの継続と発展、会員相互の親睦、地域に貢献できる有意義な奉仕活動により会員増強を進める」を目指す等について懇談を行いました。

午後5時より「クラブ協議会」が開かれ、前川ガバナー補佐の進行により五大奉仕委員長より今年度の活動計画の報告を行い、細川好弘ガバナー、前川ガバナー補佐より貴重な助言を頂きました。

引き続き午後6時より、例会を行い細川好弘ガバナーより今年度の「地区基本方針」を話して頂き有意義な公式訪問を終了しました。

**函館五稜郭ロータリークラブ 7月27日(金)**

ガバナー公式訪問。クラブ会長であるなしにかかわらず、ロータリアンとして、1年で一番緊張をする一日。

10時30分からの会長・幹事懇談会、ガバナーは私が会場に入室する以前に到着していたのである。このようなところから、会議の流れは始終動揺する私の心理状況にガバナーの配慮を賜り、特にロータリー歴30年を超えているにもかかわらず、ロータリーについて物知らずの私に、会長の言う「四つのテスト」こそ、まさにロータリーの究極ですと、ガバナーから話された時、30年以上にわたりロータリーの会員として続けてこれた喜びを内心感じる事ができました。

これを機に、今は自信を持って新会員の増強に努めようとしているところであります。

(会長 大日向豊吉)



黄其光(ゲイリー・ホアン)氏、2014-15年度RI会長に



2014-15年度RI会長に選出された
ゲイリー・C.K. ホアン氏

台湾の台北ロータリー・クラブ会員の黄其光(ゲイリー・C.K. ホアン)氏が、指名委員会により2014-15年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミニーに就任します。

同氏は、ロータリーへのビジョンとして、会員を130万人に増強することとし、「会員数の増加を図るためには、中国、モンゴル、ベトナムなど、発展の可能性が見られる場所ならどこへでも、国境を越えて進出して行かなければなりません。また、女性や若い世代の会員を増やすことにも焦点を当てていき、退会した会員を再びロータリー・ファミリーの一員として迎え入れ、再入会を推進することも考えています」と話します。

ホアン氏は、Taiwan Sogo Shinkong Security 株式会社、Shin Kong Life Real Estate 株式会社、P.S. Insurance Agency 株式会社の会長、Federal Corporationの理事、台北ライフライン協会の専務理事を歴任してきました。また、マラーヤン海外保険株式会社の元社長、台湾産業・商業開発協議会の創設事務総長でもあります。

1976年以來のロータリアンである同氏は、RI副会長、理事、ロータリー財団管理委員、地区ガバナー、国際協議会研修リーダー、地域セッションリーダー、タスクフォース委員およびコーディネーター、委員会委員および委員長など、ロータリーでさまざまな役職を歴任しています。

2000年の香港、2011年のクアラルンプール、2002年のマニラ、2003年のシンガポールでのロータリー研究会招集者でもある同氏は、2002年台北会長主催会議の委員長も務めました。また、現在は台湾バスト・ガバナー協議会の委員長を務めています。

第3450地区のガバナーとして、1986-87年度に19の新クラブ(香港、マカオ、台湾を含む)を結成した同氏は、中国の内務省より、その卓越した地域奉仕活動が認められ、全国市民奉仕賞を授与されています。ロータリーでは、RI超我の奉仕賞ならびにロータリー財団功労表彰状を受賞しています。

ホアン氏とコリーナ夫人には、3人のお子さんがいます。

2012年の指名委員会委員を以下にご紹介します(敬称略)

John F. Germ(米国)(委員長)、Keith Barnard-Jones(英国)、Mohamed Benmejdoub(モロッコ)、Peter Bundgaard(デンマーク)、Michael Colasurdo Sr.(米国)、Mário de Oliveira Antonino(ブラジル)、Sushil Gupta(インド)、謝三連(台湾)、John Lawrence(オーストラリア)、Carlo Monticelli(イタリア)、Paul A. Netzel(米国)、小沢一彦(日本)、Ekkehart Pandel(ドイツ)、Noraseth Pathmanand(タイ)、Barry Rassin(バハマ)、Robert Scott(カナダ)、Thomas M. Thorfinnson(米国)

(ロータリー・ニュース：2012年8月10日)

新会員のご紹介

(敬称略)



七飯RC
池田 徳顯
7月1日入会
福祉サービス



七飯RC
小滝 達也
7月1日入会
薬局



恵庭RC
川口 了久
7月4日入会
自動車販売



千歳RC
菅野 範幸
7月5日入会
地方銀行



恵庭RC
竹田 一則
7月18日入会
水道事業



千歳RC
阿部 正信
7月19日入会
宗教



苫小牧RC
市古 勝也
7月27日入会
機械器具・材料卸売



岩見沢東RC
伊澤 珠樹
7月31日入会
不動産鑑定士



苫小牧RC
寺澤 純
8月3日入会
新聞発行



苫小牧RC
神野 秀俊
8月3日入会
地方銀行



千歳セントラルRC
高木 昌人
8月7日入会
歯科診療所



千歳セントラルRC
菅原 百合子
8月7日入会
一般飲食

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



藤井 哲夫 会員 (恵庭RC)

2012年7月26日逝去(享年75歳)

【ロータリー歴】 1980年10月25日 入会
1991-92年度 会長
1991-92年度 由仁RC設立
拡大特別副代表
クラブ創立40
2009-10年度 周年実行委員長
地区青少年交換委員、ロータリー
一財団、国際奉仕、すべての委
員長を歴任

【表彰関係】 マルチプル・ボール・ハリスフェロー
米山功労者

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



林 博幸 会員 (滝川RC)

2012年7月27日逝去(享年73歳)

【ロータリー歴】 1981年7月 入会
1995-96年度 幹事
2003-04年度 会長

【表彰関係】 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
(4回)
ベネファクター
米山功労者マルチプル(6回)

2015-2016年度ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 細川 好弘
地区ガバナー指名委員長 渡邊 恭久

2015-2016年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



(299号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

◎「皇室に学ぶ日本人の底力」	所 功	2012	11p (第40回ロータリー研究会)
◎「新たな国づくりに向けて-東日本大震災を経験して」	増田 寛也	2012	5p (D.2710地区大会)
◎「激動する国際情勢と日本」	田久保忠衛	2012	2p (D.2770地区大会)
◎「東日本大震災を経験して」	桑原 茂	2012	2p (D.2550地区大会)
◎「自然環境を考える」	C.W.ニコル	2012	2p (D.2550地区大会)
◎「日本復活、今、日本人の持つべき心は！」	金 美齢	2012	7p (D.2580地区大会)
◎「キャリア教育の意義と実践」	水井 健次	2012	7p (D.2630地区大会)
◎「支縁社会をつくる」	坂東真理子	2012	16p (D.2630地区大会)
◎「元米山奨学生として」	徐 重仁	2012	2p (D.2550地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫]

地区カレンダー (9月・10月)

9月 新世代のための月間		10月 職業奉仕月間・米山月間	
1(土)		1(月)	公式訪問(札幌南RC)
2(日)		2(火)	公式訪問(当別RC、札幌セントラルRC)
3(月)		3(水)	公式訪問(新札幌RC)
4(火)	公式訪問(伊達RC)	4(木)	公式訪問(由仁RC)
5(水)	公式訪問(室蘭東RC)	5(金)	
6(木)	公式訪問(洞爺湖RC)	6(土)	
7(金)	～8(土) 地区野球大会(伊達)	7(日)	
8(土)		8(月)	
9(日)	由仁RC創立20周年記念式典(由仁)	9(火)	
10(月)	公式訪問(札幌北RC)	10(水)	
11(火)	～12(水) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(江別西RC)	11(木)	
12(水)	公式訪問(栗沢RC)	12(金)	地区大会記念ゴルフ大会(苫小牧)
13(木)	2013-14年度地区研修リーダーセミナー(東京) ロータリー・コーディネーターセミナー(東京) 公式訪問(滝川RC、美唄RC)	13(土)	2012-13年度地区大会(新ひだか町)
14(金)	公式訪問(札幌あけぼのRC)	14(日)	2012-13年度地区大会(新ひだか町)
15(土)	米山奨学生研修旅行(旭川)	15(月)	
16(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)	16(火)	
17(月)	敬老の日	17(水)	公式訪問(白老RC)
18(火)	公式訪問(札幌清田RC)	18(木)	公式訪問(岩見沢RC)
19(水)	公式訪問(余市RC)	19(金)	
20(木)	公式訪問(小樽銭函RC)	20(土)	
21(金)		21(日)	
22(土)	秋分の日	22(月)	
23(日)	札幌はまなすRC創立20周年記念式典(札幌)	23(火)	公式訪問(札幌西RC)
24(月)		24(水)	公式訪問(札幌モーニングRC、札幌RC)
25(火)	公式訪問(室蘭北RC)	25(木)	公式訪問(札幌西北RC、札幌大通公園RC)
26(水)	公式訪問(登別RC)	26(金)	公式訪問(札幌幌南RC)
27(木)	公式訪問(室蘭RC)	27(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
28(金)	公式訪問(苫小牧RC)	28(日)	
29(土)		29(月)	公式訪問(長沼RC)
30(日)		30(火)	公式訪問(千歳セントラルRC、札幌はまなすRC)
		31(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2012.7.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	36	-1	2	84.00
	羽 幌	4	46	47	1	2	76.70
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	91.66
	留 萌	5	43	43	0	3	86.98
	小 計		136	138	2	7	84.84
2	赤 平	5	28	30	2	0	83.60
	芦 別	4	37	37	0	1	76.43
	砂 川	4	47	48	1	0	98.40
	滝 川	4	84	88	4	3	77.00
	小 計		196	203	7	4	83.86
3	美 唄	4	33	33	0	0	82.25
	江 別	4	34	35	1	2	77.14
	江 別 西	4	26	26	0	3	95.20
	岩 見 沢	4	80	80	0	0	89.24
	岩 見 沢 東	5	21	22	1	2	83.48
	栗 沢	4	23	23	0	1	100.00
	栗 山	4	23	24	1	2	96.78
	当 別	4	27	27	0	1	94.55
	小 計		267	270	3	11	89.83
4	札 幌	4	110	115	5	0	97.05
	札幌あけぼの	4	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	5	17	17	0	3	88.24
	札 幌 北	4	32	32	0	4	91.13
	札幌モーニング	4	44	46	2	0	76.17
	札 幌 西	5	47	49	2	5	88.57
	札 幌 西 北	4	33	34	1	4	89.70
	札 幌 手 稲	4	31	31	0	3	91.63
	小 計		329	339	10	21	90.31
5	札 幌 東	4	121	125	4	0	98.72
	札 幌 清 田	5	20	19	-1	5	96.46
	札 幌 幌 南	4	50	52	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	23	23	0	3	100.00
	札 幌 南	4	80	80	0	0	99.69
	札幌大通公園	4	12	14	2	1	73.21
	札幌セントラル	4	7	7	0	3	85.70
	新 札 幌	4	27	27	0	3	73.58
	小 計		340	347	7	15	90.92
6	岩 内	3	21	21	0	0	81.66
	倶 知 安	4	36	36	0	6	80.50
	小 樽	4	70	70	0	0	83.33
	小 樽 南	4	71	71	0	2	94.22
	小樽銭函	4	20	21	1	2	83.00
	蘭 越	4	10	11	1	0	100.00
	余 市	4	43	43	0	4	86.50
	小 計		271	273	2	14	87.03

7月出席率・
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,627人(115人)
増加会員数	67人
当月平均出席率	86.42%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2012.7.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	51	2	3	93.98
	千歳セントラル	4	33	34	1	2	80.87
	恵 庭	4	42	43	1	3	98.08
	北 広 島	5	16	16	0	0	88.00
	長 沼	4	19	19	0	3	88.16
	由 仁	4	9	9	0	1	88.89
	小 計		168	172	4	12	89.66
8	え り も	5	26	26	0	1	83.84
	三 石	4	15	15	0	2	71.60
	様 似	5	24	24	0	1	85.80
	静 内	4	72	71	-1	0	76.37
	浦 河	5	34	34	0	1	67.65
	小 計		171	170	-1	5	77.05
9	伊 達	5	54	54	0	0	78.00
	室 蘭	4	40	41	1	0	87.93
	室 蘭 東	4	38	39	1	0	78.60
	室 蘭 北	4	33	37	4	2	80.07
	登 別	4	31	32	1	1	84.38
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	88.80
	小 計		205	212	7	3	82.96
10	函 館	4	79	86	7	0	81.71
	函館亀田	4	39	41	2	4	93.59
	森	4	42	43	1	0	76.00
	七 飯	4	15	17	2	0	72.00
	長 万 部	3	8	8	0	0	83.30
	函館セントラル	4	28	30	2	2	70.00
小 計		211	225	14	6	79.43	
11	江 差	5	10	10	0	1	88.90
	函館五稜郭	4	39	44	5	0	95.86
	函 館 東	4	43	45	2	6	78.17
	函 館 北	4	25	25	0	0	92.71
	北 斗	4	15	15	0	0	61.70
	松 前	2	3	4	1	0	100.00
	小 計		135	143	8	7	86.22
12	白 老	4	28	30	2	1	82.70
	苫 小 牧	4	47	49	2	2	82.04
	苫小牧東	4	28	28	0	4	92.24
	苫小牧北	4	28	28	0	3	98.18
	小 計		131	135	4	10	88.79
合 計		2,560	2,627	67	115	86.42	

9月のことば

常に自分のアンテナを広げて、いろいろな分野に対して好奇心、興味を旺盛にわきたたせることで新世代に自ら挑戦する、やる気を育むプログラムを提供してください。

ガバナー 細川好弘 書

